

令和4年度 相馬支援学校 ナビ

- 1 学校経営・運営ビジョン
- 2 相馬支援学校の育成を目指す資質・能力
- 3 相馬支援学校の目指す子ども像
- 4 会議の持ち方
- 5 (1) 基本ガイド「よくわかる小学部」
(2) 基本ガイド「よくわかる中学部」
(3) 基本ガイド「よくわかる高等部」



相馬支援キャラクター
くるみちゃん

6 グランドデザイン

- (1) 小学部
- (2) 中学部
- (3) 高等部

- (4) 教務部
- (5) 研修部
- (6) 生徒指導部
- (7) 進路指導部
- (8) 保健部
- (9) 地域支援センターしせい
- (10) デジタル推進部
- (11) 渉外部

- 7 資質・能力を育むための「各学部・各部の課題関連図」
- 8 学習発表会「咲笑祭（さくえさい）」について

福島県立相馬支援学校



令和4年度 福島県立相馬支援学校 学校経営・運営ビジョン

< 学校教育目標 >

- 基礎的・基本的な知識・技能を習得し、活用できる力の育成
- 自ら考え、協働し、課題を解決する力の育成
- 自ら進んで考え、学ぼうとする力の育成
- < 目指す子ども像 >
 - ・生活の中で自分の力を生かせる人
 - ・協力してやりぬこうとする人
 - ・進んで学ぼうとする人

< 基本方針 >

私たちは、相馬地区における「地域で共に学び、共に生きる教育」を推進するとともに、児童生徒や保護者の想いや願いを大切にし、一人一人の可能性を信じ、もてる力を最大限に発揮できるように教職員全員で支え、高め合う学校「チーム相馬」として、連携・協力し、様々な教育活動に取り組んでまいります。

校長 和知 学

- 【重点目標】**
- 「特別活動」、「特別の教科 道徳」及び「総合的な学習（探究）の時間」の指導の充実を図る
 - **加付マシメント**を効果的に進め、単元構想や学習評価の充実を図る

高等部

○自己理解や自己調整を促し、他者の思いを受け止めながら自分の思いを伝えたり、目的を共有したり協働したりする態度の育成と般化

中学部

○様々な人との関わりの中で互いを理解し合える社会性と人間性を養い、自ら考え、行動し、伝え合う力の育成と般化

小学部

○安心・安全な生活に基づいた基礎的・基本的な学びの機会の保障

【学習指導の充実：教務部・研修部】 【進路指導の充実：進路指導部・教務部・研修部】 【生徒指導の充実：生徒指導部・保健部】

□単元案を活用し、単元構想や学習評価を行い「資質・能力の確実な育成」、「教育活動の質の向上」を図ります。

□進路の手引きやキャリアガイダンスシートを活用し、丁寧な進路指導と相談に努めます。

□学習活動と関連付け、SNS等に関するトラブルやいじめ、性に関する指導を充実させ、未然防止や早期発見に努めます。

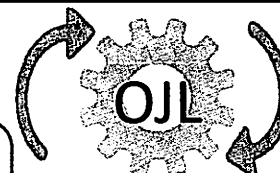


- ・個別最適化された学びの実現
- ・「働き方改革」の推進

チーム相馬
「共に、支え合い・高め合う学校」

□教育事務所や地域自立支援協議会と連携し、地域支援を充実させます。

□児童生徒が、心身の健康管理ができるように保健指導の充実にも努めます。



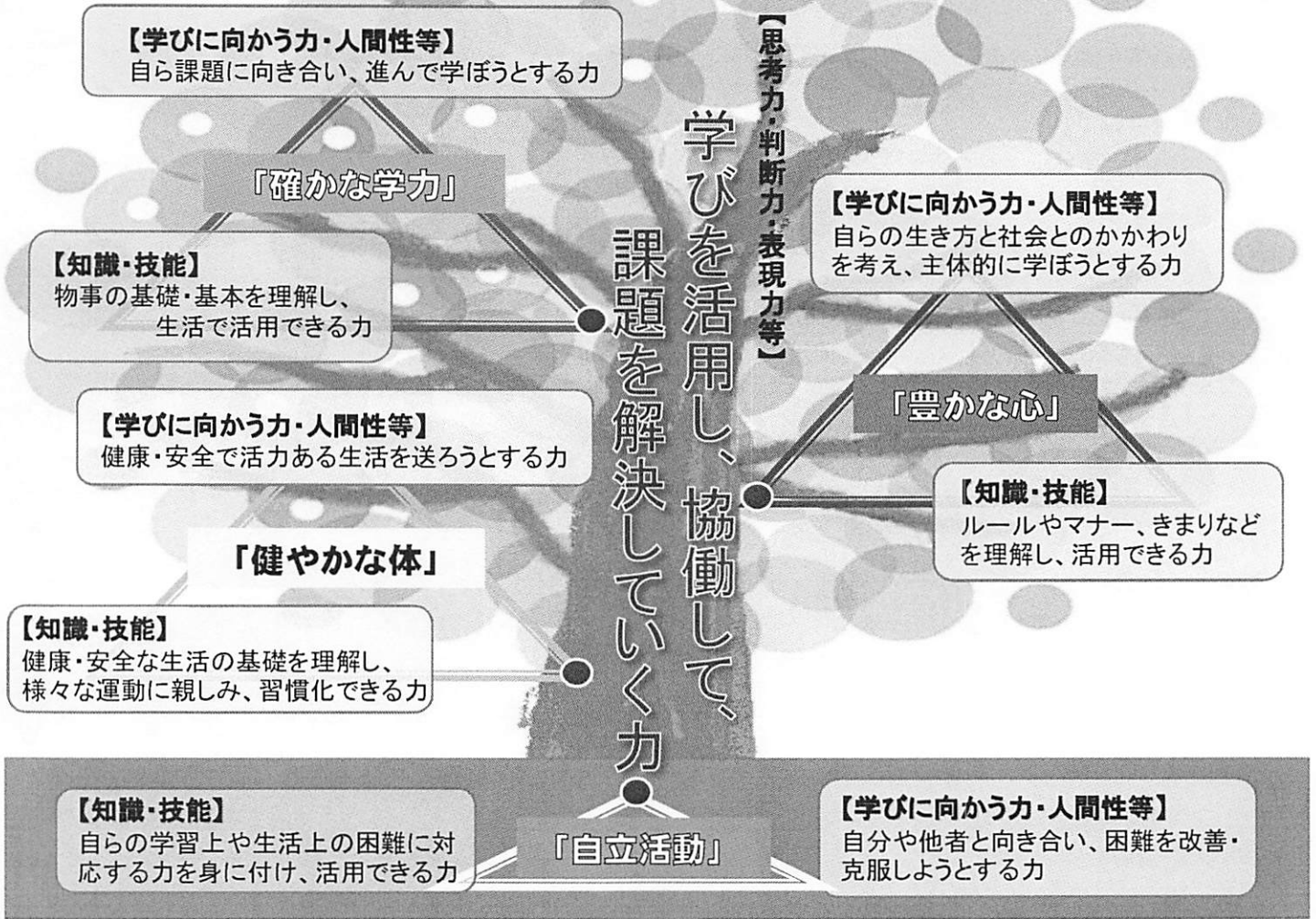
- ・授業力向上
- ・学校力向上

【地域支援の充実：地域支援センター・渉外部・研修部】 【健康指導の充実：保健部・生徒指導部・渉外部】

【安心の確保】 □児童生徒の人権を尊重した指導・支援を進め、教職員としての振る舞いを適切に行うことができるようにサービス倫理活動を実施し、不祥事根絶に努めます。

【安全の確保】 □校舎内外の環境整備や自然災害・感染症等への対応に迅速かつ丁寧に取り組めます。

相馬支援学校の育成を目指す資質・能力



引用(一部編集):画像(木)「パブリックドメイン」;著作権フリー画像素材集

具現化するための学校教育目標



- 基礎的・基本的な知識・技能を習得し、活用できる力の育成
- 自ら考え、協働し、課題を解決していく力の育成
- 自ら進んで考え、学ぼうとする力の育成

学部目標

＜小学部＞

- 身近な生活で扱う基礎的・基本的な知識・技能を習得し、活用できる力の育成
- 自ら考え、友達と一緒に課題を解決していく力の育成
- 自ら学ぼうとする力の育成

＜中学部＞

- 基礎的・基本的な知識・技能を身に付け、生活につなげようとする力の育成
- 自ら考え、協働し、課題に気付いて改善しようとする力の育成
- 自ら進んで学ぼうとする力の育成

＜高等部＞

- 自立と社会参加のために必要な基礎的・基本的な知識・技能を習得し、活用できる力の育成
- 自分の考えを持ち、他者を理解し、課題を解決していく力の育成
- 自ら進んで考え、学ぼうとする力の育成

9年間を見通した資質・能力の育成

小・中との円滑な接続

3年間を見通した資質・能力の育成



相馬支援学校の目指す子ども像

資質・能力が育まれた子どもの姿

○進んで学ぼうとする人



○生活の中で
自分の力を生かせる人

○協力して
やりぬこうとする人

小学部

「まなび」

「なかよし」

「げんき」



中学部

「自立」

「協力」

「自ら学ぶ」



高等部

「自律」

「協働」

「自ら学ぶ」



会議等の持ち方について

令和4年4月

(1) 定例会議について

基本的には下記表の週、曜日に会議を設定する。出張等にて変更の可能性あり。

週	月	火	水	木	金
1	学部会		研修日		
2		各部会			
3					校務運営 委員会
4					職員会議

(2) 各委員会について

各委員会については、定例では設定せず、委員長の判断で随時設定する。開催する場合は、教務後ろのA3版の掲示に時間と場所を記入し、黒板に貼り出す。

(3) 会議の活用について

基本的な流れは以下の通りとなります。

- ①各係で“計画案”を作成する。
- ②学部行事等については「学部会」、各部主体で計画する行事や案件については「部会」で“計画案”を提示し、それぞれの会議で検討する。
- ③各計画案を発議する。
- ④発議が通ったら、運営委員会に提案する。
※運営委員会で訂正等あれば、係が修正し、正式案を教務へ提出する。
- ⑤職員会議で全体へ周知する。

※上記の通りで進める場合が難しい場合は、学部主事や各部長に相談し、臨機応変に進める。

(4) 各会議の記録について（※学部会の記録は、その都度回してください。）

○各部会

部会は定例設定となるため、記録は教務で集約し一括で管理職へ回覧します。ファイルを作成したので、記録と資料をファイルにとじ、リストへチェックを入れてください。全ての部がそろったら、回します。部会実施なしの場合は、リストに「なし」と記入してください。

○随時実施する会議

会議を実施したら、記録とその時の資料をつけて記録を回してください。



よくわかる! 相馬支援学校 小学部

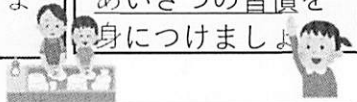
早寝早起き 朝ごはん

規則正しい生活を心がけ、生活リズムを整えるようにお願いします。



できることは 自分で

着替え等身の回りのことを自分でやってみましょう。お手伝い等家庭での役割を見つけましょう。



あいさつ へんじ

ご家族との「おはよう」「ありがとう」「ごめんなさい」等のあいさつの習慣を身につけましょう。

ご家庭で

感染症予防対策

37度以上の発熱やせき等あるときには医療機関への受診をお願いします。マスクの着用のご協力もお願いします。



災害時に備えて

お住まいの地域の避難所の確認や、マスク・消毒液等の感染症対策を含めた防災グッズ準備をお願いします。



お困りごとは

気軽に学部主事や特別支援教育コーディネーターまでお声がけください。連絡帳でも結構です。



友達と仲良く

学級や学年での学習に加えて、児童会活動、クラブ活動等を通して、学部内の交流を図ります。



地域での学び

地域の小学校との交流及び共同学習を行い、校間交流や居住地校交流を進めます。



学部目標

「まなび」
「なかよし」
「げんき」



学校で

学習の基礎

身近な生活で扱う基礎的・基本的な知識や技能を身につけ、生活に活用できる力を育てます。



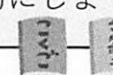
考える力

教師と一緒に、友だちと一緒に考えて、それぞれの課題を解決していく力や学習に向かう態度を育てます。



各教科の目標

「生活」「国語」「算数」など教科の目標を明確にし、教科間のつながりを大切にします。



欠席の連絡

体調不良等による欠席については、当日朝8時までに学校に電話連絡をお願いします。



通学バスの利用

将来の自力通学をめざして、通学バスを運行しています。出発時刻の5分前までに乗車してください。



登校時間

登校時刻は、8時25分です。打ち合わせ中の時には、担任担当が行くまで、しばらく玄関でお待ちください。

その他

親子学級

就学前幼児の親子学級を開催しています。子育てに役立つ講演会も開催しています。



進路について

将来を見据えて小学部段階からの事業所等の見学をお願いします。ご不明な点は担任等へご相談ください。



「かけはし」

相談支援ファイル「かけはし」を学級の個別懇談や福祉サービス事業所等との連携にご活用ください。



日課表

8:25 登校・1校時・2校時・3校時・4校時 12:00 給食指導・摂食指導 13:20 5校時・下校指導(親子学級) 14:25

※曜日や学年で下校時刻は異なります。
※この日課表はおおよその日課となりますのでご了承ください。

詳しくはウェブで
学校ホームページ <https://soma-sh.fcs.ed.jp/>

相馬支援学校はYouTubeチャンネルも開設しています。



目標

- 【学部目標】
- 学んだことを生活につなげようとする生徒（自立）
 - 周りの人と協力して課題を解決しようとする生徒（協力）
 - 自ら進んで学ぼうとする生徒（自ら学ぶ）

登下校

登校 月～金	下校				
	月	火	水	木	金
8:25	14:20		15:10	14:20	

進路

- 【卒業後を見据えて】
- 将来を見据えて、中学部段階から事業所等の見学や情報収集をお願いします。
 - 「進路の手引き」を活用し、ご家庭で進路の話題を出しながら将来の姿を思い描いてください。

通学関係

- 【自力通学に向けて】
- 通学に際しては、保護者の責任の下で行っていただくようになります。
 - JRや路線バス、徒歩等での自力通学を希望される場合は、担任までご相談ください。

- 【通学バス】
- 「通学の手引き」を十分に読んでいただき、生徒の安全確保をお願いします。
 - 出発時刻の5分前までにバスへ乗車してください。保護者の方は出発まで停留所で見送りをお願いします。
 - 当日学校を欠席、遅刻する場合は、朝7:00までに学校とバス会社両方に連絡をお願いします。
- 連絡先：東北アクセス本社営業所 ☎0244-23-2964 ※相馬ルート、南相馬ルート共通

その他

- 【欠席等の連絡】
- 当日の欠席や遅刻については、8:10までに連絡願います。その際に理由も伝えてください。
 - 放課後等支援事業所を利用されている方は、欠席や早退の際に事業所への連絡もお願いします。

- 【情報端末の使用】
- タブレットやスマートフォン、ゲーム機器等の情報端末は、正しく使わないと体調不良や生活リズムの乱れにつながります。保護者の管理の下で、時間を決めて使いましょう。
 - 個人情報の流出は危険な事案につながりますので、細心の注意を払ってください。

- 【約束・ルール】
- 身だしなみや、挨拶・返事、言葉づかいなど普段から生活態度を意識しましょう。

保健室より

- 【健康なからだ】
- 主食・主菜・副菜のそろった食事を心がけましょう。
 - ご家庭でも適度な運動を毎日続けましょう。
 - 早寝、早起きを心がけ、規則正しい生活をしましょう。



- 【スクールカウンセラー】
- 本人や保護者の困りごと等について、スクールカウンセラーを活用できますので、担任または学部主事へご相談下さい。

- 【新型コロナウイルス感染症対策】
- 毎日の検温や体調確認をお願いします。37度以上の発熱や風邪症状がある場合は医療機関の受診をお願いします。
 - 登下校時には、マスクの着用をお願いします。保護者の皆様もマスクの着用、アルコール消毒をお願いします。
 - お子さんの体調不良時に、必要な場合には学校から緊急連絡先へ連絡させていただきます。



目標

- 【学部目標】
- 生活の中で学びを生かす生徒（自律）
 - 友達と協力してやりぬこうとする生徒（協働）
 - 自ら進んで考え、学ぼうとする生徒（自ら学ぶ）

登下校

登校時間 月～金	下校時間				
	月	火	水	木	金
8:20	15:00	15:00	14:05	15:00	14:05
			※放課後の活動 14:05～14:50		※放課後の活動 14:05～14:50

※ 履修している教育課程によって、登校時間が9:00の生徒もいます。

進路

- 【進路について】
- 学年で年2回、3年間で計6回の「産業現場等における実習」を実施します。
 - 「進路の手引き」を活用し、ご家庭でも励ましや支援をお願いします。

通学関係

- 【通学関係】
- 高等部は自力通学です。通学方法は、保護者送迎、徒歩、公共交通機関（電車、バス）、自転車となります。小中学部で利用している通学バスは使えません。
 - 公共交通機関を利用する際は、ルールを守って、マナーに気をつけて通学してください。
 - 毎日必ず、気象状況、電車やバスの運行状況、運休の際の登下校の方法や保護者との連絡方法等を確認し、有事の際の安全確認がスムーズにできるようお願いします。
 - 自転車を通学に使用する場合は、「自転車通学許可願い」を学校へ提出します。

その他

- 【欠席等の連絡】
- 当日の欠席や遅刻については、8:10までに連絡願います。その際に理由も伝えてください。
 - 放課後等支援事業所を利用されている方は、欠席や早退の際に事業所への連絡もお願いします。

- 【情報端末の使用】
- 携帯電話の所持を希望する場合は、「携帯電話の校内持ち込み許可願い」を提出します。学校内では電源を切り、各自が責任をもって保管します。休憩時間に使用することは認められていません。
 - タブレットやスマートフォン、ゲーム機器等の情報端末の使用については、SNSの適切な利用を心掛け、様々なトラブルに巻き込まれないよう、ご家庭でも利用状況の把握や指導に努めてください。

保健室より

- 【健康なからだ】
- 主食・主菜・副菜のそろった食事を心掛けましょう。
 - ご家庭でも適度な運動を毎日続けましょう。
 - 早寝、早起きを心がけ、規則正しい生活をしましょう。



- 【スクールカウンセラー】
- 本人や保護者の困りごと等について、スクールカウンセラーを活用できますので、担任または学部主事へご相談下さい。

- 【新型コロナ感染症対策】
- 毎日の検温や体調確認をお願いします。37度以上の発熱や風邪症状がある場合は医療機関の受診をお願いします。
 - 登下校時には、マスクの着用をお願いします。保護者の皆様もマスクの着用、アルコール消毒をお願いします。
 - お子さんの体調不良時に、必要な場合には学校から緊急連絡先へ連絡させていただきます。

小学部の グランドデザイン

学部目標

- 身近な生活で扱う基礎的・基本的な知識・技能を習得し、活用できる力の育成
- 自ら考え、友達と一緒に課題を解決していく力の育成
- 自ら学ぼうとする力の育成

児童の実態

- 一人一人の児童は学ぶ意欲が高く、活用しようという思いが強い。
- 友達や教師とのやりとりを好み、やさしい心を持った子ばかりである。
- 集団活動場面になると、自立活動の課題が浮き彫りになる傾向がある。
- 新入生の人数が例年より多く、障がいの多様化、重度・重複化することが予想される。

目指す児童像

安全・安心な学校生活の中で、友達と仲良く学び合う姿

【小学部で育成すべき資質・能力】

【学びに向かう力・人間性等】
興味・関心を持って、進んで学ぼうとする力

確かな学力

【知識・技能】
基礎的・基本的な内容を理解し、活用できる力

【学びに向かう力・人間性等】
健康・安全で元気に生活を送ろうとする力

【知識・技能】
健康で安全な生活の基礎を理解し、様々な運動に取り組める力

健やかな体

【思考力・判断力・表現力】
学びを活用し、友達や教師と一緒に課題を解決していく力

【学びに向かう力・人間性等】
友達や教師と共に、主体的・対話的に学ぼうとする姿

豊かなこころ

【知識・技能】
ルールやきまりを理解し、活用できる力

自立活動

【知識・技能】
学習上や生活上の困難に対して、教師とのやりとりの中で適切に対応できる力

【学びに向かう力・人間性等】
友達や教師と共に、困難を改善・克服しようとする力

安心・安全

- 友達や教師とのやりとりがより活発に展開できるようにし、課題に対して共に考えながら取り組むことで、信頼関係に基づいた安心な学校生活を保障する。
- 感染症拡大防止対策に関する学習や日常的な取り組みを行う。また、登下校時や休み時間等の指導体制を整え、けがの防止に努める。
- 障がいの多様化、重度・重複化に対応した居住地校交流や親子学級等に取り組み、地域のセンター的機能を果たすよう努める。

各教科等における資質・能力について

○各教科で目指す資質・能力に基づいた、見方・考え方を働かせる単元を構成し、じっくりと課題に向き合いながら思考力・判断力・表現力を生かして学習や活動を展開できるようにする。その際、友達や教師とのやりとりもより活発に展開し、互いの考えを伝え合い、集団としての考えも作り上げられるようにする。

自立活動について

○各教科で目指す資質・能力を支える学びとして、コミュニケーションを要しながら人間関係の形成や心理的安定等を実践する。またその中でも身体の動きや環境の把握等に日々継続して取り組み、学びに向かう力を培うようにする。

連携が必要な校務分掌や地域資源

中学部 高等部 教務部 研修部 生徒指導部
進路指導部 地域支援センター 保健部 保護者
地域の小学校 地域の公共施設・交通機関 放課後
等ディサービス 医療・保健機関

各教科等横断的な資質・能力について

○言語能力の育成：国語科を要として語彙の段階的な獲得等を、特別の教科道徳をはじめとする教科等同士や、特別活動との関連を図りながら取り組み、その能力が一層発揮できるようにする。

○情報活用能力、問題発見・解決能力の育成：ICTを活用したりプログラミング的思考を取り入れた生活科等を中心とした単元を構成し設定することで、それらの能力が一層発揮できるようにする。

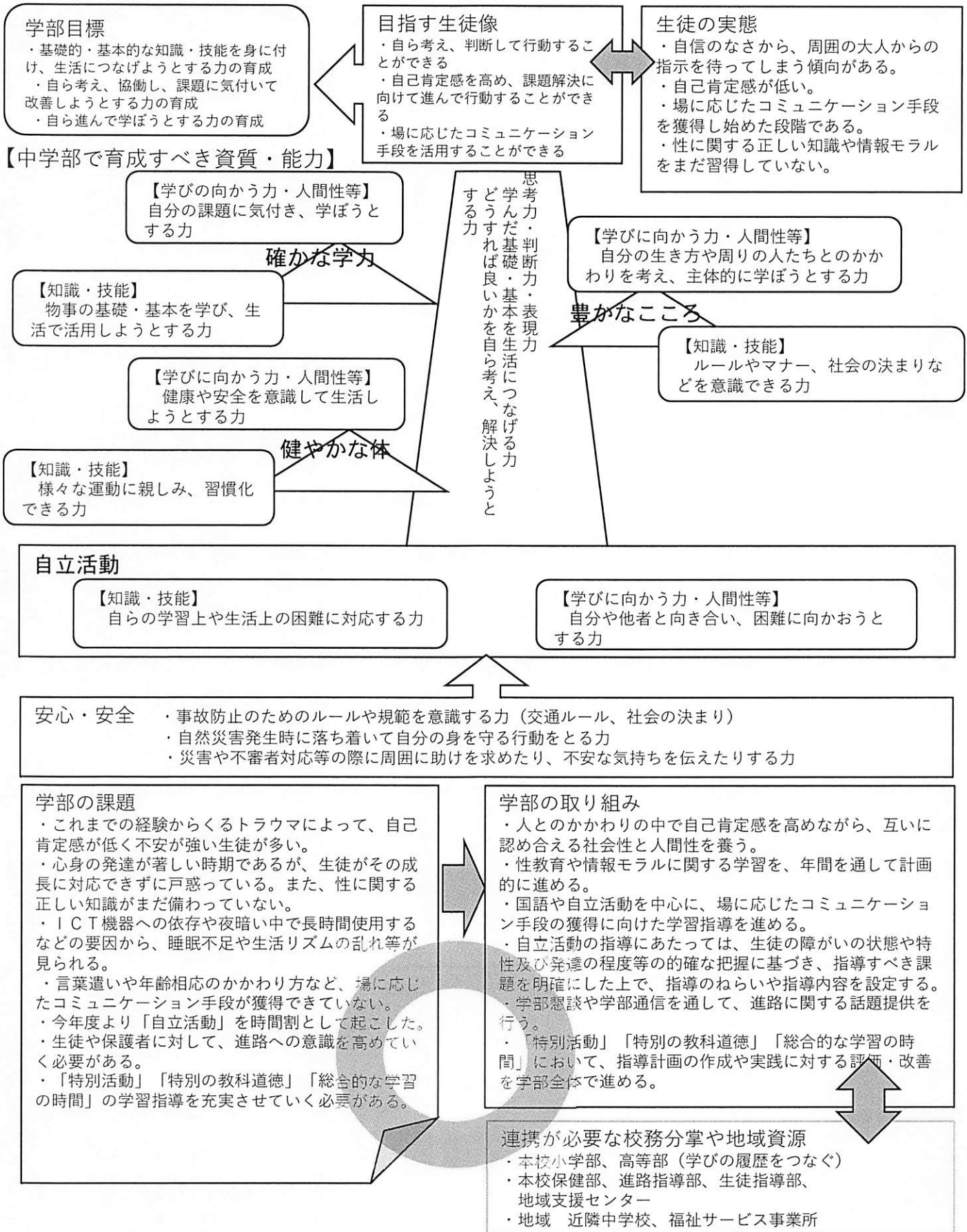
現代的な課題に対応して求められる資質・能力について

○生活科を要としながら「きせつをさがそう」「まちたんけん」等の校外での活動を含む調べ学習の単元を構成し設定する。また併せて、児童会・委員会活動の機会をより多く設けて話し合い活動を活発にすることで、生活力及び地域力の育成を図る。学校間交流や居住地校交流等にも相手校等の理解・啓発を図りながら取り組む。これらを通して求められる能力が一層発揮できるようにする。

相馬支援学校小学部ならではの力について

○咲笑祭でのステージ発表やスペシャルアート展、宿泊学習や修学旅行、鹿島地区小中学校音楽祭等への参加を通して、自分の得意なことを知ったり、集団の良さを生かして取り組んだりしながら自己実現を図るようにする。

中学部のグランドデザイン



高等部のグランドデザイン

学部目標

- 自立と社会参加のために必要な、基礎的・基本的な知識・技能を習得し、活用できる力の育成。
- 自分の考えを持ち、他者を理解し、課題を解決していく力の育成。
- 自ら進んで考え、学ぼうとする力の育成。

目指す生徒像

- ・生活の中で学びを生かす生徒（自律）
- ・友達と協力してやりぬこうとする生徒（協働）
- ・自ら進んで考え、学ぼうとする生徒（自ら学ぶ）

生徒の実態

- ・素直 ・まじめに取り組む。
- ・コミュニケーション面に課題が多い。
- ・自己理解力、自己調整力が弱い。
- ・他者を理解し、相手の気持ちを考えた行動が難しい。
- ・集団生活におけるルールやマナーの理解が不十分。
- ・自主性、自発性が弱い。
- ・肥満傾向の生徒が多い。

【高等部で育成すべき資質・能力】

【学びに向かう力・人間性等】
自分の課題を理解し、
進んで学ぼうとする力

【知識・技能】
物事の基礎・基本を理解し、
生活の中で活用する力

確かな学力

【学びに向かう力・人間性等】
健康で安全な生活について理解し、
生活を送ろうとする力

【知識・技能】
健康で安全な生活について理解し、
運動に親しみ習慣化できる力

健やかな体

思考力・判断力・表現力
自立と社会参加のために、
能を活用し、協働して課題を解決していく力。

【学びに向かう力・人間性等】
卒業後の進路と社会とのかかわりを考え、
主体的に学ぼうとする力

豊かなこころ

【知識・技能】
ルールやマナー、きまりなどを理解し、
生活の中で実践できる力

自立活動

【知識・技能】
自らの学習上や生活上の困難を理解し、
対応できる力

【学びに向かう力・人間性等】
自分や他者と共に、
困難を改善・克服しようとする力

安心・安全

- 生徒の人権を尊重した指導・支援を進め、教職員としての振る舞いを適切に行うことができるように含む倫理活動を実施し、不祥事根絶に努めます。
- 校舎内外の環境整備や自然災害・感染症等への対応に迅速かつ丁寧に取り組みます。

学部の課題

- 高等部の生徒の課題として挙げられた課題を整理すると、以下の通りに分けられる。
- 教科等の枠を越えた力の充実
 - * 学習の基盤となる資質・能力
 - ・言語能力 ・問題発見・解決能力
 - ・情報活用能力
 - 教科等の枠組みで育む資質・能力
 - ◆ 生徒の課題から特に
 - ・特別活動・道徳科
 - ・総合的な探究の時間

学部の取り組み

- 【2つの資質・能力について】
- ①必要な力について、生徒一人一人の資質・能力を偏りなく、確実に育む。そのために「何を、どのように学ぶか、何が身に付いたのか」を単元案等にて明確にして、指導と評価の一体化を図り、指導改善しながら育んでいくようにする。
 - 【力を伸ばすための安心・安全な環境の保障】
 - ②人権を尊重した指導・支援に努め、相手（生徒）の気持ちを考えた言動をとる。

連携が必要な校務分掌や地域資源

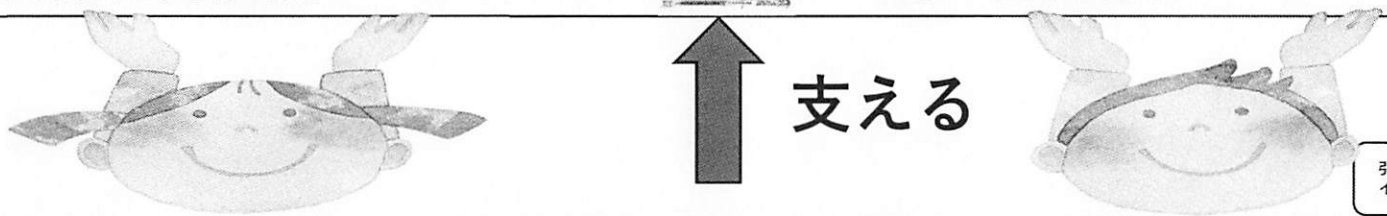
校内：小学部 中学部 生徒指導部 進路指導部 地域支援センター 教務部 保健部
 地域：相双障害者就業・生活支援センター ハローワーク 市町村役場 相談支援事業所 児童相談所
 自立支援協議会 企業 福祉サービス事業所

教務部 グランドデザイン

運営上の4つの方針
 ①教育課程の充実 ②諸表簿等の物品の管理 ③地域資源の活用と連携 ④ICT環境の整備と充実

学校教育目標
 ・基礎的・基本的な知識・技能を習得し、活用できる力の育成
 ・自ら考え、協働し、課題を解決する力の育成
 ・自ら進んで学ぼうとする力の育成

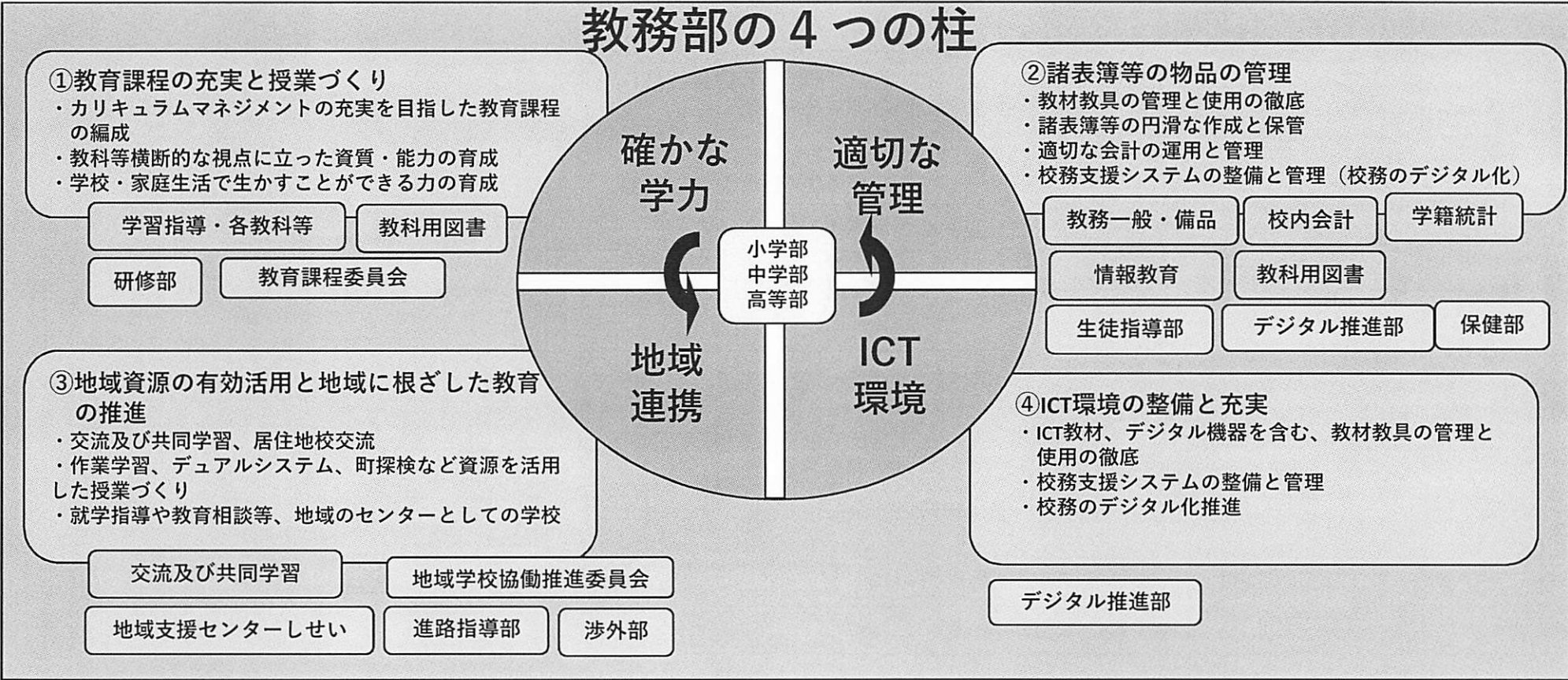
目指す子ども像
 ・生活の中で自分の力を生かせる人
 ・協力してやりぬこうとする人
 ・進んで学ぼうとする人



支える

引用：なんでも持ち上げる水彩イラスト（水彩の挿絵屋さん）

教務部の4つの柱



研修部のグランドデザイン

研修部のミッション

「児童生徒の1人1人の資質・能力の育成最大化」

本校の現状と課題及び時代の変化等を踏まえて研修テーマ等を設定・実践し、教員1人1人の授業実践における資質向上を図り、児童生徒1人1人の「育成を目指す資質・能力」の“育成最大化”を目指すために、授業実践にかかる部と適時連携を図りながら、運営していく。

実現するために大切にしたい点

「授業者ニーズに合わせて」

教員1人1人の資質向上だけでなく、学校の組織風土として、持続可能な研修・実践となるように、“授業者ニーズ”を大切にしながら、指導要領の内容を“確実に”かつ“シンプルに”“深く”考えて授業の準備時間の確保及び実践、改善ができるように創造していく。

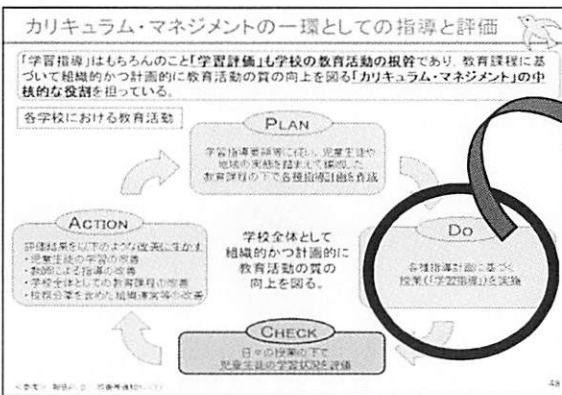
方法

R4まで「単元研究会からのカリキュラム・マネジメントの充実」

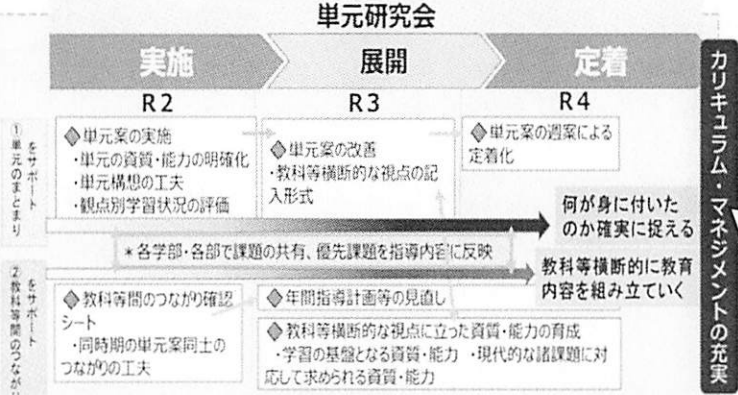
児童生徒1人1人【育成最大化】

研修部のミッション

力を最大限に伸ばす



資質・能力の要素の三つの柱の育成を測る最小単位



* 研修計画より

単元というユニットで、資質・能力の育成（指導目標）を明確にし、授業構想、学習評価、授業改善を行い、授業実践上課題となる教育課程、教科等横断的な視点に立った資質・能力、年間指導計画等の見直しについても、具体的に提案するなどして、教育活動の質の向上を目指す。

【教務部】 【初任研】 【フォローアップ】 【5年経験者研修】 等との連携

『生徒指導部』 グランドデザイン

【目標】（※生徒指導全体計画より）

児童生徒一人ひとりの人格を尊重し、個性を生かしながら社会的資質や行動力を高めることを目指す。

- (1) 学習意欲を高め、進んで学習する態度を養う。
- (2) 児童生徒一人ひとりが生き生きと集団生活に参加できるように支援をする。
- (3) 基本的生活習慣を身につけさせるとともに、健康で安全な生活を送ることができるよう支援する。

《相馬支援学校 生徒指導にかかわる児童生徒の実態と課題》

- ・生活習慣、規範意識に課題が見られる児童生徒の割合増。(家庭への支援が必要なケースの増加)
- ・情報モラルに欠けたインターネット、スマホ利用と依存傾向生徒の増加。(SNSトラブルの急増)
- ・友達との不適切なかかわり方におけるトラブル。(段階に応じた、系統的かつ継続的な性に関する指導、心の教育)



積極的な生徒指導

- ・トラブル、問題発生後の対応ではなく、未然防止の観点を踏まえた積極的な生徒支援の推進。
→学級での学習指導と関連付けながら、SNS等に関するトラブルやいじめ、性に関する指導の充実。(学級担任・保護者・学部)
- 状況に応じて学部、生徒指導部、保健室等が連携した「チーム学校」での効果的な支援の推進。
- ・保護者・地域に向けた学校HP上での積極的な情報発信。(生徒指導部における取り組みについて)

効果的な生徒指導

- ・児童生徒会の自主的かつ活発な活動の推進。(生徒会総会の在り方検討、委員会活動実施日の確保。)
- ・高等部活動の推進。(集団行動における決まりやマナー、自主性の意識向上、規範意識の醸成、自己実現を図る基盤づくり)

密な連携と活用

- ・学級、学部、校務分掌間での情報共有方法の工夫。(朝の打ち合わせ、校内ケース会議の有効活用、通学の手引き等、各種様式の整備を通じた各基準の明確化。)
- ・外部人材、関係機関(警察、企業、SC、医療機関等)との連携強化。(PTAを巻き込んだ効果的な活用へ。)

～目指すべき姿～

児童生徒

- ・安心、安全な学びの場、機会の確保。
- ・周囲へ援助を求める力の確立。(障がいの状況や特性における困難さ、様々な不応へ)
- ・規範意識の育成。(積極的な生徒指導を通して)
- ・思考力・判断力の育成(自分で考え、判断し、行動できる力から適切な行動選択へ。)

運営組織

- ・組織としての機能強化。(具体的役割の明確化)
- ・情報共有、協議の場の有効活用。(限られた時間の中で有意義に、様々な視点と意見を大事に)
- ・安心、安全な学校づくりの基盤醸成(いじめのない学校づくり)
- ・運営状況の振り返りを随時実施。PDCAサイクルのもとで方向性を考え、対応。(行事、マニュアルの精選等)

(進路指導) 部のグランドデザイン

目標

- 児童生徒一人ひとりが自己の能力や適性に応じて進路の選択ができるよう、小・中・高等部と段階的な進路指導を進める。(進路の適性)
- 職業や仕事に対する理解を深め、意欲を持って勤労する態度を身につけるようにする。(勤労観)
- 将来の自立や社会参加を目指して、働くための基礎的な能力の向上を図る。

運営上の実態

- 各学部間の連携及び知識の不足
- 共通理解のもと、卒後をイメージした教育活動ができてきている

運営上の課題

- 全学部を通した一貫教育
- 地域と行政への適切な働きかけ
- 本人、保護者の障がいの正しい理解

総務系のミッション

- 進路指導全般に関する企画立案事務処理
- 関係各機関及び保護者との連絡、調整、報告等

就職指導系のミッション

- 一般及び福祉的就労、福祉サービスの利用に関すること
- 校内実習及び産業現場等における実習に関すること

連携に必要な校務分掌及び地域資源

- 生徒指導部による日常生活及び卒後のマナーとルールについて
- 保健部による健康管理(自己管理)
- 関係各機関による情報の共有
- 生活地域への貢献(地域生活を目指した認知度の向上)

令和4年度保健部グランドデザイン

学校保健目標

- 1 自分の心身の健康管理ができる力を育てる。
- 2 心身の健康管理に必要な知識を習得し、実践できるスキルを身につける。

学校として目指す子ども像

- ・生活の中で自分の力を生かせる人
- ・協力してやりぬこうとする人
- ・進んで学ぼうとする人



生涯にわたり心身ともに健康で安全な生活をおくる
知識とスキルを持ち、自立して社会参加ができる。

小、中、高等学校
住民、事業所等の人
材資源

地域との 連携

相双保健福祉事務所、市町
村保健センター、児童相談
所、医療機関、JA、大
学、研究機関、商工会議所
等

関係機関 との連携

学部、生徒指導部
進路指導部、教務
父母と教師の会等

校内組織 との連携

保健部

YouTube での動画配信、保健だより、ホ
ームページでの活動内容報告など、保健
部員がアイデアを出し合い、協力しなが
ら子どもたちのために動く！！

・健康課題（肥満、性、ゲー
ム障害等）解決のための保
健指導計画立案、実施

保健指導

給食指導

- ・安心安全な給食の提供
- ・食育に関する指導
- ・「お弁当の日」を設ける

各係の業務

環境美化

災害共済

- ・校舎内外の環境整備
- ・環境教育（放射線、温
暖化、ゴミの分別、減
量等）の推進

- ・災害共済給付手続き
- ・学校管理下で事故が起きた時
の迅速な事務処理

地域支援センターしせいR4 グランドデザイン

校外

切れ目のない支援体制整備事業

(相談支援、研修支援の実施)

- ・相双教育事務所、市町村教育委員会との連携
- ・自校の支援体制整備
- ・インクルーシブ教育の理解・啓発

相馬地方特別支援教育研究会

- ・情報交換等の場の提供
- ・ニーズに応じた研修会の実施
- ・研究集録発行（互いの実践力向上）

就学指導専門調査の協力

早期教育相談親子学級すくすく

- ・市町村の保健センターとの協働開催
- ・講演会、懇談会の実施

連携が必要な地域資源～顔の見える関係づくりをすることで、ケースに対し連携・協働を目指す～

- ・教育事務所、市町村教育委員会、行政機関、相談支援事業所、福祉事業所、児童相談所、家庭児童相談室、保健センター、SSW医療機関等
- ・各市町村の自立支援協議会へ参加し、課題や情報を共有し、協力できる関係性を構築する。（地域の課題を把握）

目標

～人をつなぐ、支援をつなぐ～

- ◎関係機関と連携・協働しながら支援する。
- ◎個別の教育支援計画や相談支援ファイルの活用を図る。（連携時、引き継ぎ時）



校内

ケース会議、支援会議

～誰がいつまで何をやるのか～

- ・関係職員、外部関係者の招集
- ・心のケア委員会、SCとの連携
- ・就学に関する教育相談

情報交換会の実施

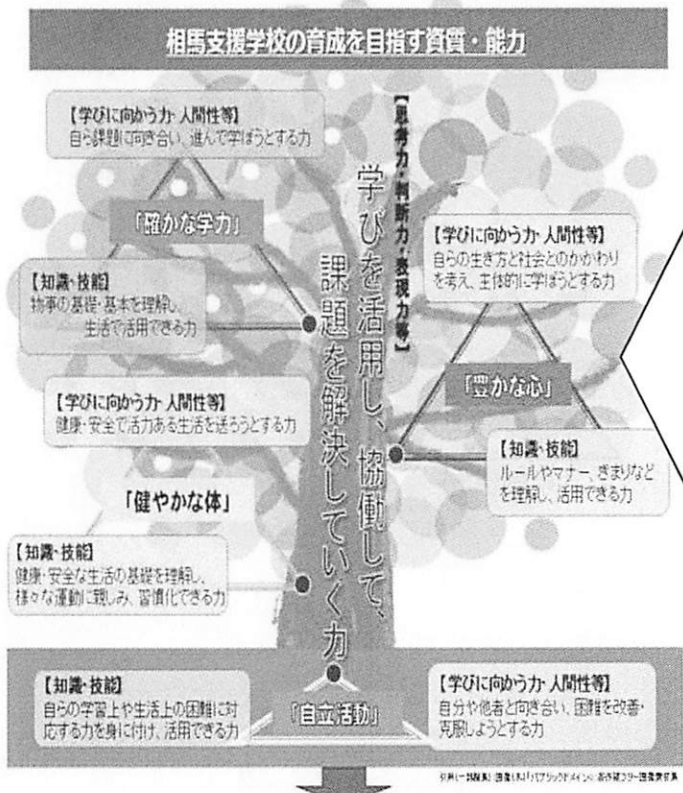
- ・放課後等児童デイ事業所

専門家の活用・ST、OTからの助言

R3 成果と課題

- 必要に応じて関係機関と連携をしながら校内外のケースに対し支援策を考えることができた。
- 個別の教育支援計画個別の指導計画、支援ファイルを活用した支援体制構築に課題がある。

デジタル推進部 グランドデザイン




具現化するための学校教育目標

- 基礎的・基本的な知識・技能を習得し、活用できる力の育成
- 自ら考え、協働し、課題を解決していく力の育成
- 自ら進んで考え、学ぼうとする力の育成


社会参画促進

- ICT 機器操作を含む職場開拓
- 作業製品販売会等での ICT 機器を活用した会計
- 地域へ児童生徒から発信
- 本校生徒による学校紹介 YouTube 配信



QOL の増進

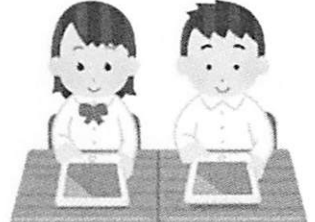
- 学習コンテンツの作成
- 医療的ケア対象児童生徒の ICT を活用したコミュニケーションツールの開発
- タブレット端末を使用した家庭学習について
- 緊急時、災害時の連絡体制



指導内容の工夫


- 教科等横断的な資質能力の育成
- 『PQ ラミグ』的思考の育成を目指した実践
- 個別最適化された学びの実現
- 全学部における情報モラルに関する学習

ICT 活用




校務の合理化・デジタル化

- 校務運営システムの運用サポート
- ICT 支援員の活用
- Google の機能を活用した校務の工夫



地域連携

- 地域の ICT 企業との連携
- 地域の高校との連携
- 地域連携協議会との連携



ICT 環境整備と各種規程・ネットワーク体制づくり

カリキュラムマネジメント・教育課程編成

各部横断的な組織

セキュリティ等に配慮し、ICT を活用した情報連携



OJL

全ての教員が入力や操作ができる、学び合う環境づくり

渉外部グランドデザイン

令和4年3月

【目標】

相馬支援学校の教育に関して支援・協力をいただく団体との円滑な連携を図るとともに、協同する団体との円滑な会の運営に努める。

【方針】

- (1) 各団体との円滑な連携を図り、相馬支援学校の教育活動がより充実したものとなるようにする。
- (2) 相馬支援学校の児童、生徒、保護者、教職員、卒業生、その他関係する人々が会を通してつながりをもったり、良好な関係を築いたりすることができるように各系の運営にあたる。

【父母と教師の会】

- ・父母と教師の会活動（総会、いちご狩り、地域行事参加、懇談会、親子レクリエーション、研修視察、バサー、奉仕作業、会報発行、各種保険に関する案内）の連絡調整および事務
- ・役員会
- ・会計事務と報告

【同窓会（馬っこ会）】

- ・同窓会（毎年開催）の企画立案と運営
- ・会計事務と報告

保護者、教職員、児童生徒とのつながりや相互理解

卒業後の活動やつながりの充実

相馬支援学校

小学部

中学部

高等部

卒業後

【後援会】

- ・後援会活動（総会、入会案内、市町村負担金申請、会報発行）との連絡調整及び事務
- ・会計事務と報告

地域との連携・啓発と学校活動全般への資金

【特別支援教育振興会】

- ・特別支援教育振興会（特教新相双支部事務局）の企画立案と運営、連絡調整及び事務
- ・会計事務と報告
- ・富岡支援学校との連携（事務局2年ごと持ち回り）

特別支援教育に関する理解啓発

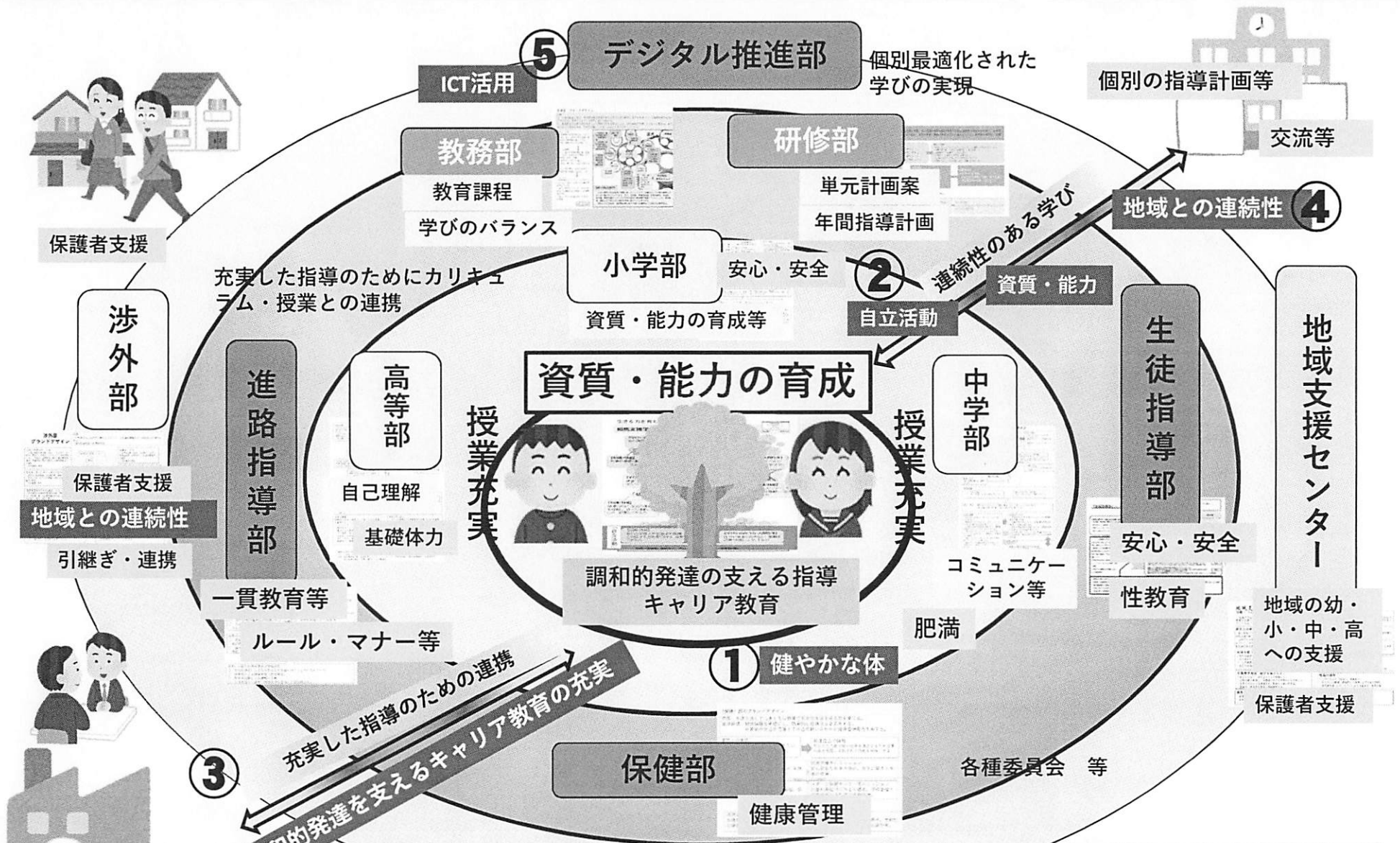
【運営上の課題】

- ・学校活動への資金援助があることで成り立っている学習や活動があることの周知とそれに伴う教員の外郭団体の活動への協力意識の向上。
- ・コロナ禍での活動制限における計画・活動の見直し、全てに対する理解啓発活動の工夫。

【連携が必要な校務分掌、地域資源】

- ・校内：小学部、中学部、高等部、教務部、進路指導部、生徒指導部、保健部、地域支援センター、事務部
- ・各特別支援学校
- ・各特別支援学校父母と教師の会
- ・鹿島区商工会

資質・能力を育むための「各学部・各部等の課題関連図」



- < 共通の課題 >
- ① 健やかな体の育成
 - ② 資質・能力の確実な育成 (各教科、自立活動等)
 - ③ 調和的発達を支える一貫したキャリア教育
 - ④ 地域との連続性
 - ⑤ ICT活用

子どもたち一人一人の力や可能性を
育成・発揮できる最大単元としての咲笑祭

協働

言語能力

問題発見・
課題解決能力

- ◎テーマ、スローガン
- ◎一体感を高められる小・中・高
共同で取り組める企画
- ◎児童生徒実行委員会

社会参画

咲笑祭

自己実現

情報活用能力

地域力

- ◎各学部の発表、販売会
- ◎本校の取り組みの発信
HP、Youtube配信等

自己理解・自己実現能力

- ◎各学部の発表、販売会
- ◎スペシャルアート展

単元で見る咲笑祭 (準備から振り返りまで)